

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 3 4	コロナ禍において地域との交流が減っている。昨年の運営推進会議で話し合い、今年度の実施を計画していた「グループホーム喫茶」のような事業が中断している。	運営推進会議をベースにして、コロナ禍においても地域との関係を途絶えないようにし、状況を見て「新しい取り組み」を進めていく。	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の通常の開催。 運営推進委員と協力して、「喫茶」の具体的な計画を立案する。 「喫茶」の実施を足がかりに、グループホームと地域の方との交流を促進する。 	12ヶ月
2	25 27	来年度から本格導入予定の介護記録等の電子化について、実施に向けての準備段階にある。	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員のレベルを合わせて、早い段階での切り替えが可能になる。 記録の電子化により、記録業務の効率化ができる。 情報の共有と有効活用ができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員同士が互いに教えあうことにより、全体の理解度を高める。 具体的に導入に向けた工程表を作成し、段階を踏みながら一項目ずつ移行していく。 電子化により、効率の良い記録ができ、記録時間を短縮していく。 記録の統計等の利用の可能性を考える。 	12ヶ月
3	28 40 41 42	令和3年度報酬改定内容を反映した取り組み。生活機能・栄養・口腔の3部門に関しては、法人内の専門職の協力が必要。	入居者の生活の質の向上のため、生活機能向上、栄養管理、口腔栄養スクリーニングの取り組みができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> OT・PT・ST、管理栄養士、歯科衛生士等に趣旨の理解を求める。 各加算の算定ができるように、他事業所との協力体制を検討する。 取り組みの成果を、客観的に判断していく仕組みを作る。 	12ヶ月
4	11 12 13	コロナ禍での外部研修参加等が減っている。代替えとしてオンライン研修の機会を設けているが、研修への参加やキャリアパスへの取り組みについて、職員により差が大きい。	1年間を通じた目標を明確にして、それに則った研修計画により、個々のキャリアアップにつながることを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 個々の年度目標、年度計画を、上長と一緒に作成する。 人事考課の時期に合わせて、進捗状況をチェックする。 キャリアパスの認定申請を視野にいれた取り組みを行い、チームで支援する。 	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。